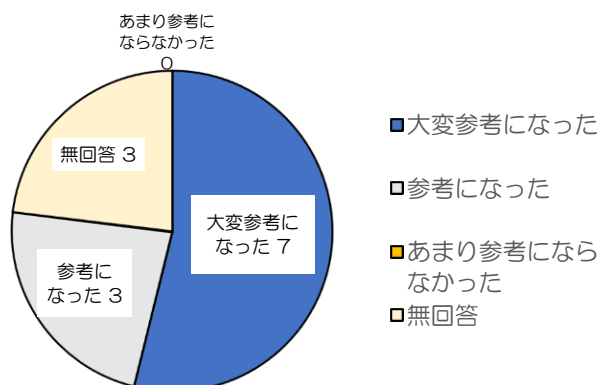


第3回 蒲郡腎臓病ネットワーク 参加者アンケート結果

(2020.12.5)

参加 24名 アンケート回収 13名

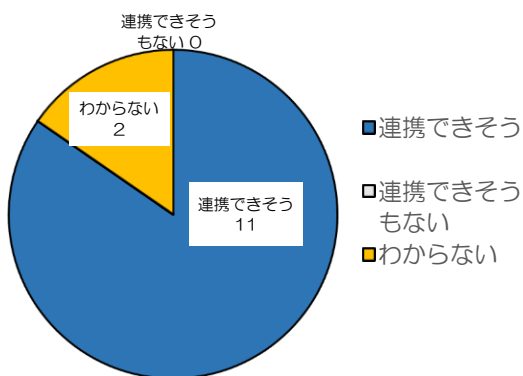
1 一部はそれぞれの立場からレクチャーがありましたが、どの程度参考になりましたか。



第一部	感想・ご意見
蒲郡市の糖尿病性腎症・慢性腎臓病重症化予防の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・積み重ねていくことの大切さを感じました。地道に事業をすすめることで、結果がついてくると感じました。 ・取り組みについて具体的に知ることができ、数字を見ることで改めて結果につながっていると感じました。予防的な活動の成果をみることができた。 ・糖尿病性腎症重症化プログラムに加え、健診では腎臓病ネットの連携に該当するケースが多いと感じ、慢性腎臓病の市民への理解を深め、生活習慣改善による予防対策が必要と感じた。 ・CKD重症化予防プログラムの実施状況がよく分かった。また、最終の評価項目である医療費の抑制のためには医療費の経年変化を見ていくことが必要だと分かったため、きちんと数値を見ていきたい。 ・蒲郡の状況や背景を知ることができ、勉強になりました。 ・参考になった。 ・5年間の特定健診結果では、県平均と違いHbA1cが減少傾向にあるので、この傾向が継続していくのかみていきたい。 ・ネット環境不具合の為に、うまく受信することができなかった。 ・患者さんが来局されて一部しか視聴できませんでした。
蒲郡腎臓病ネットワーク活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医から専門医への紹介状況がわかり、連携体制への必要性を感じた。また事例検討でも話されていたが、腎臓病におけるかかりつけ医をはじめとする関係職種の薬剤及び栄養指導への理解、知識の向上が必要であると感じた。 ・G-CKDネットワーク紹介となった症例についての専門医の先生の対応が聞いて勉強になりました。また、60歳代以下の早期介入が大切と分かり、適切な時期にスムーズにG-CKDネットに繋がるようになるためには市民への取り組みの周知も大切だと感じました。 ・腎臓病ネットワークについて理解が深まったように思います。 ・ネット環境の不具合の為にうまく受信することができなかった。 ・専門医の先生の動きがとてもよくわかりました。ネットワークの活用がもっと進むと変わっていくよう感じました。 ・参考になった。 ・患者さんが来局されて一部しか視聴できませんでした。 ・医療機関の実際の取り組み（具体的に対処法等）を知ることができた。ネットワークがうまく機能していると感じた。 ・実際の事例をみることで、早期の介入がCKD、DKD重症化予防につな

	がるとより感じる事ができた。
G-CKD.NET 蒲郡市民病院からの報告	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べ紹介ケースが若年化し、初年度の実績としてケース発掘された現状を知ることができた。高血圧や糖尿病等の基礎疾患では早期からの生活習慣の改善への指導教育が重要であると感じた。 ・市民病院の透析設備が増強されたと知れて、心強いと思った。地域で完結できるような体制づくりをスムーズに行っていくためには、それぞれの分野で介入できることを行っていかなければならない必要性を改めて感じた。 ・入院してくる患者さんの状況等まで知ることが出来てよかったです。 ・参考になった。 ・ネットワークが進み、市民病院に行く前の環境が整うことが大切だと感じました。 ・市民病院としての役割だけでなく、行政・かかりつけ医・専門医などそれぞれの段階に応じた役割が明確になった。 ・市民病院の透析室の運用状況を知ることができた。 ・参考になった。 ・ネット環境不具合の為か、うまく受信することができなかった。 ・患者さんが来局されて一部しか視聴できませんでした。

2 二部のグループワークでは多職種の方とディスカッションしました。今後の連携につながりそうですか？現在の連携について課題などありましたら記載してください。

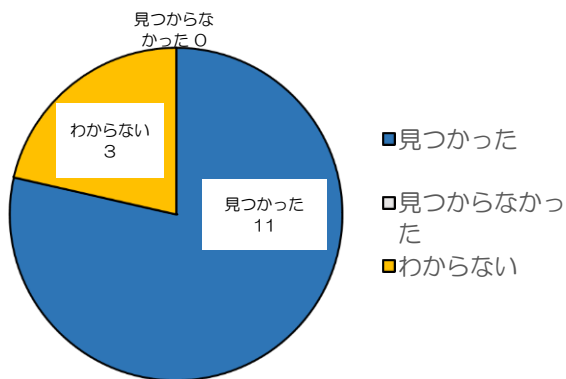


<理由>

- ・ケースに関わる専門職が個々のケースの健康、家庭状況の課題と支援方針を共有し、互いの役割や専門性を活かした関わりができるような連携が重要と思いました。
- ・専門外のことはとても難しかったので専門職の大切さを改めて感じた。特に高齢者の人は治療のみではなく日常生活の支援が必要となるため、市内全体でのより多くの施設や多職種間での連携が必要だと感じた。

- ・保健所の立場で連携していけることがあるか、考えていきたいです。
- ・各専門職種が患者さんに関して、欲しい情報を共有できるように意見交換して少しずつ関わりを増やして連携しやすい環境が構築できるとよい。
- ・食事の指導などは管理栄養士の方と連携できればと思います。
- ・連携する時に名前や顔など知っている時のほうが上手にできそうと思いました。Drの治療への考え方が知れてよかった。
- ・なかなか多職種の意見を聞くことがないので、薬のことなど勉強になりました。
- ・医師や多職種の意見を伺うことで患者様の症状等に関する事を色々知る事ができる。
- ・事例を通じて、患者さんに対しどのように対応するのか、考えているのか等、実際を知ることができた。それぞれの職種の役割が明確になったので、他の事例においても相談したり、連携できそう……。
- ・徐々に連携が広がってきているが、介護職や市役所の他課などより連携を広くしていく必要性を感じた。
- ・それぞれの職種の役割を理解し、どのような方法があるかを知ることができました。
- ・WEB上ではあったが、普段あまり接点のない職種の方と話すことができ、症例を通して、専門的な考えを聞くことができた。他のケースでも連携できたら良いと思った。

3 今回の会を通じて蒲郡市の DKD、CKD 対策への課題やヒントが見つかりましたか？



<理由>

- DKD、CKD 対策では、予防はもちろんのこと、重症化予防においては関係者の質の向上をはかれるよう、各専門職の判断や考えを学ぶ機会をもつことが大切だと思いました。
 - 多職種連携が大切だが、情報共有の仕方を考えなければスムーズに連携することが難しいと分かった。
 - 薬剤師さんからの視点での重要性がよくわかり、薬局等でも患者さんの状態等が把握できるようになると良いと思いました。
- 専門医への紹介後に多職種がチームで介入できるような体制作りができればよいでしょう。
 - 分からないことは各分野の専門の方にアドバイスして頂けると問題解決につながることもある。
 - 検査値をもっと薬剤師が見て処方提案などした方がよいと思いました。
 - 患者様の検査データや病状、生活様式等を連携していく事が大切。
 - 連携をとることが大切だと感じた。
 - 行政・かかりつけ医・専門医・市民病院という患者さんの状況に応じた医療の流れ（役割分担）はできていると思うが、さらに薬剤師等多職種が絡み合っているとよいな。
 - それぞれの職種の視点だけでは限界があるため、多職種が介入することで、対策の効果や効率が上がると感じた。

4 次回の会議を開催するにあたり、都合がつきやすい曜日や時間がありましたら教えてください。

月	1	午前	2
火	1	午後	6
水	1	夜	0
木	1	特になし	7
金	1	回答なし	0
土	6		
日	3		
特になし	5		
回答なし	0		

5 今回の研修会に関する自由な意見や以降の会を取り上げて欲しい内容や深めたい内容、希望講師等があれば記載してください。

- リモートでの開催、準備等大変だったかと思いますが、グループワークで他職種の方の意見などを聞くことができ、大変勉強になりました。お誘いいただきありがとうございました。
- 市内の透析の稼働状況について詳しく知れる機会があるといいと思った。また、透析治療されている患者さんの治療や合併症、日常管理についての知識をきちんと持っておくと、今後 CKD 患者さんへの指導する際に役立つと思った。
- 今回のように、ネット環境さえ整えばそれぞれの場にいながら研修会が実施できるので、もっと多くの職種や人に参加してほしい。

ご協力ありがとうございました

●講演動画の視聴回数（12/10～12/27の期間限定でWEB公開）

講演1 蒲郡市の糖尿病性腎症・慢性腎臓病重症化予防の取り組み （蒲郡市市民福祉部健康推進監兼健康推進課長 統括保健師 石黒美佳子）	34回
講演2 蒲郡腎臓病ネットワーク活用状況 （あおば内科クリニック 院長 鈴木高志先生）	13回
講演3 G-CKD.NET 蒲郡市民病院からの報告 （蒲郡市民病院 内科 第2部長 太田圭祐先生）	20回